

みんなの
**つくろう！
 ステキな木のおうち**

建設資金の寄付とアイデア募集中！

- ステキな木のおうちニュース -

No.4

募金総額

9/18 現在 48名 ¥2,679,500

ご協力ありがとうございます。

発行日：2015年9月18日

発行者：〒191-0062 東京都日野市多摩平 4-3

(公財) 社会教育協会日野社会教育センター



新着情報

**4階部分の設計変更
 さらに使いやすい施設へ!!**

4階部分が設けられ、
 さらに使いやすい施設に!!

現段階での設計の変更点として、4階の部分が設けられました。3階までの予定だったエレベーターも、4階までとなり、皆様に一層使いやすい施設となる予定です。

利用者懇談会へのご出席

ありがとうございます。

8月28日(金)と29日(土)の2日間で、新館建設の進捗状況の報告と内装等のご意見・ご要望を伺う目的で、利用者懇談会が行われました。2日間で、20名ほどの方にご出席いただき、皆様からご意見・ご要望を伺い、新館に対する期待の大きさを痛感いたしました。建築設計家にもご出席ねがい、建物の内容や今後のスケジュールについて説明していただきました。

懇談会でいただいた

「ご意見・ご要望

- 音響に配慮した施設にしてほしい。
 - ホールの床材を検討してほしい。
 - ロッカー、姿見を設置してほしい。
 - 駐輪場・駐車場を確保してほしい。
- いただきましたご意見・ご要望に対しましては、実現可能か前向

きに検討いたします。貴重なご意見ありがとうございます。

**現在の体育館と新館
 多目的ホールの広さの比較**

現在の体育館の広さ240㎡に対し、新館のホールは216㎡と数字上は狭くなります。しかし、現在の体育館の柱やマット置き場のデッドスペース15〜20㎡分を差し引きすると、220㎡前後となり、出っ張りのない状態での216㎡と比較すると、大きな違いにはならないと考えております。また、エレベーターや更衣室が利用可能となり、使い勝手は現状に比べ格段に向上します。これらの点を踏まえ、ご理解いただきますようお願いいたします。

寄付者ご芳名

(敬称略・五十音順・9/18現在)
 (8/28〜9/18にご寄付いただいた方)
 ※ご都合によりお載せしていない方もいらっしゃる。

小林茂、新日本婦人の会日野支部原梢、その他匿名の方



応援メッセージ

日頃から日野社会教育センターを応援して下さっている皆さまの、新館建設に対する声を紹介します。

新館建設に寄せて

～日野に戻ってきて良かった
 佐藤 文彦様(ジュニアクラブOB)
 ▼いま親として

この社会教育センターと関わって40年。私の親、子、兄弟や甥っ子姪っ子も含めると計16人で一家まるごとお世話になってきた。母はコーラスや毎年のバザーなど。父は応援団長。そして今は、自分の子も毎年のスキーに参加、とりわけ長女は今年からリーダーとして参加させてもらうなど、学生生活の一部となっている。自身は40年前から、小中高でそれぞれ世代のクラブで毎月集まっていたのキャンピングやら何やらとそれらの準備。それとは別に、毎夏毎冬の自然学園。本当によく行ったなあと思う。いやいや、親によく行かせてもらい、センターによくお世話になったということ。いま親として、そのありがたみをつくづく噛みしめている。

▼誰にとっても居場所があるところ

あのころのいろいろな体験が自分の人格や価値観の一部を形成していることは間違いなくて、社会に入ってから振り回され親としての考え方に確実に影響していると思う。

センターが地道に紡いできたもの。それは、「人としての幸せ」に目的を特化した取り組み、そこに向かって一見あほかと思うまでの純粹さ、そこに織りなす人の限りない広がり、「誰にとっても居場所がある」ということかと思う。昔は「これが当たり前」と思って社会に出てから25年経つが、それは当たり前ではなかった。

▼今こそ価値が出てくる

40半ばを超えた今も当時のジュニアの仲間やリーダーで年に数回、一杯楽しみながら仕事や子育てなどの話で語り合う時がある。大人になつて社会に出て、ともすれば世に擦れて本質を忘れそうなとき、この集まりは、いま各々が持つ悩みについて「もともと大事なことは何だったか？」という地点に引き戻してくれる。「会社の前に社会だよ」と思い出させてくれる場。そう考えると、さまざまな人とのふれあいの中で心を突き動かされた数々の体験は、

あの頃よりも何十年経つた今こそ価値が出てくる、私たちの「お宝」だと思う。

▼学校とも家庭とも違うところ

こんなことがあった。中学生の時にキャンプ場で夜にふと、「勉強つてなぜするの？特に数学とか。だつて肉屋に行つて方程式なんか使わないよ。」という、素朴すぎる質問に対してリーダーが、考えた末に「持っている知識を使って、考え抜いて一つの答えを出す、という練習。答えがあるうちはまだいい。大人になつたら答えがないことばかり。心配してもしなくても、そういうときに必ず君たちにもやってくる。そのため、壮大な練習なのだと思うよ。」と。



何気ない会話の中だけに、こんな、学校も親もまともに取り合つてくれなかつた疑問に対して目の前の大人が真正面から答えてくれたことに素で感動し、生意気盛りの14歳の腹にストンと落ちた。センターが学校とも家庭とも違う「大切な何かを備えている」ことを初めてハッキリ感じた瞬間だったように思う。

▼より安心して楽しく通える施設

そんなセンターがとうとう今の館を閉じて新たに居を構えると聞いた。今の館は自分と同年なので、口には出さないがあちこち痛いだろう。

昔は「エレベーターなど要らない」と思っていたが、今では老いた母が楽しみで行くコースの時はどうしているのだろうか、階段で転ばないか、などと心配になる。新館は、いつまでもより安心して楽しく通える施設に。そのため自分ができることがあれば、少しでもお役に立ちたい。



※経費削減・資源節約のため、今後のニュースの発送に関しまして、メールでの配信にご協力いただける方は、こちらのアドレスまでお名前とメール配信希望の旨ご連絡ください。

mail:

shinkan2017@hino-shakyo.com

＝新館建設資金ご寄付のお願い＝

現在、新館建設に向けて、皆様からのご寄付をお願いしております。新館をより充実したものにすため、1億円目標で寄付をお願いしております。

口座名義 財) 社会教育協会 日野社会教育センター
口座番号 00180-8-790966

※通信欄に募金と記入ください

《寄付控除について》

個人が公益財団法人に寄付した場合、翌年に確定申告時をしていただくことにより税額が控除されます。《「公益社団法人等寄付金特別控除額」の計算》

$(\text{寄付金額} - 2 \text{千円}) \times 40\% = \text{税額控除額}$

(100円未満の端数は切り捨て)

※但し、控除率は寄付金額の40%、控除上限は所得税額の25%です。

寄付控除を受けるには、以下の書類の提出が必要となります。

- ①公益財団法人が発行する当該寄付金受領証明書
- ②ご本人が作成する税額控除申請書

例えば、年収500万円、扶養家族2人の人が、10,000円の寄付をした場合

税額控除を活用すると、戻ってくる金額は

$(10,000 - 2,000) \times 40\% = 3,200$ となります。

※あくまでも一例です。

詳しくは税務署にお問い合わせ下さい。

たくさんの方で、「みんなのステキな木のおうち」を実現できるよう皆様のお力をお貸し下さい。